

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本競技会は、2014年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

## 2 練習について

- ① 練習は、係員の指示により行うが、立入禁止場所を守ること。
- ② 投てき練習は、ウォームアップ場の指定された場所で係員の指示に従って行うこと。
- ③ 走高跳、棒高跳は、後に示す招集(第1チェック)のあと、係員の指示に従って本競技場ピットで練習できる。
- ④ 雨天の場合のみ、雨天練習場を開放する。

## 3 競技者の招集について

- ① 招集所は、サブグラウンド倉庫に設ける。
- ② 招集開始時刻と完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

		招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技		競技開始の35分前	競技開始の20分前
フィールド競技	投てき	競技開始の55分前	競技開始の40分前
	跳躍	競技開始の55分前	競技開始の40分前

### ③ 招集の手順

- (ア) 競技者は、招集開始時刻に、招集所に掲示してある出場競技者一覧表に、本人または代理人がチェック(自分のナンバーを○でかこむ)をする。
- (イ) 競技者は招集完了時刻には招集所で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーと競技用靴、衣類の商標の確認を受ける。
- (ウ) 2種目(トラックとフィールド)を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ、その旨を本人又は代理人が当該競技の招集完了時刻前に、競技者係主任に申し出ること。審判長がやむ得ないと判断した場合に限り、フィールド競技のみについて試技順を変更して出場させることもある。
- (エ) 招集時刻に遅れた競技者は当該競技に出場できない。
- (オ) 四種競技出場者は最初の種目のみ、招集所で3の②に従って競技者係の点呼を受けるが、以後の種目については、招集完了時刻5分前までに本競技場ピットに集合して点呼を受け、係員の指示に従うこと。
- (カ) 走高跳、棒高跳の最終点呼は本競技場のピットで実施する。

## 4 競技運営について〔競技運営上、競技日程を変更することもある〕

- ① 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の順序で表す。決勝については、主催者が公平に組合せをし、その結果を招集所及び掲示板に掲示する。
- ② 100m、ハードル競技を除くセパレート・レーンで行う競技種目で8名以下の場合は、1レーンを使用しない。棄権者があつた場合は、そのレーンをあける。
- ③ 男女の走幅跳・砲丸投は予選通過標準記録を設ける場合がある。予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合は、競技規則第142条⑬を適用する。またフィールド競技において2ピットが必要と主催者が判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。
- ④ 男女のトラックレースの予選は全てタイムレースとし、(100m～800m)は上位8名、(1500m～3000m)は上位12名を決勝に進出させる。
- ⑤ 同タイム抽選集合の正式通告後10分以内に記録本部に集合しない場合は棄権とみなし処理する。
- ⑥ リレーのオーダー用紙は予選、決勝とも招集開始時刻1時間前までに招集所に2部提出する。提出後、オーダーに変更が生じた場合は、招集完了時刻までに変更届を招集所に提出する(用紙はプログラム末尾のものを使うこと)。
- ⑦ (ア)リレーの競技者は、ダッシュ・マークとして1カ所自分のレーンにチョークや類似品を使わず粘着テープによって印をつけてもよい。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。また、テープの色はコースに使用していない色を使用する。  
(イ)リレーのメンバーは同一のユニフォームを着用すること。  
(ウ)リレーチームの編成は、どのラウンドにおいても所属チームのメンバーでプログラムに記載されている競技者であれば出場することができる。ただし、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち2人以上はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。
- ⑧ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュ到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走る。
- ⑨ 競技者は、その競技をする以外は、トラック及びフィールドに立ち入ることができない。
- ⑩ 競技者に対する助力については、十分気をつけること(競技規則第143条)。なお同第117条には、黄色カードの提示により警告、赤色カードの提示によって失格退場となる項が規定されている。
- ⑪ 抗議は競技規則第147条に従って行うこと。
- ⑫ 100m、ハードル競技において、条件によっては、バックストレートを使用することがある。ただしバックストレートを使用する場合、改修工事のため100mと100mHは1～8レーン、110mHは1～4レーンを使用する。また110mHの決勝については、2組タイムレース決勝とする。
- ⑬ **不正スタートは1回で失格とする。(ただし、四種競技は除く)**

## 5 競技場への入退場について

- ① 入退場はすべて係員の誘導によること。
- ② フィールド競技の競技者は、審判員の指示に従って退場すること。
- ③ 入賞者は係員の指示によって入賞者控室に誘導される。

## 6 ナンバーカードについて

- ① 男子 …… 黄地に黒文字  
女子 …… ピンク地に黒文字  
腰ナンバーは各校で用意する。但し、オープンレーン種目においては、主催者で準備する。
- ② ナンバーは正規のものを2枚各自が準備すること。ナンバーはユニフォームの胸背部に確実にぬいつけること。トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーをランニングパンツ右側の上部やや後方につけること。走高跳・棒高跳の出場者は胸又は背の一方につけるだけでよい。また走幅跳・三段跳は胸につけるだけでもよい。

## 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種目	性別	練習	競	技
走高跳	男子	1m35	1m40 - 1m45 - 1m50 - 1m55 - 1m60 - 1m65 - 1m70	(あと3cm刻み)
	女子	1m20	1m25 - 1m30 - 1m35 - 1m40 - 1m45	(あと3cm刻み)
棒高跳	男子	2m20	2m30 - 2m40 - 2m50 (3m00まで10cmきざみ)	(あと5cm刻み)
四種競技 (走高跳)	男子	1m30	1m35 - 1m40	(あと3cm刻み)
	女子	1m15	1m20 - 1m23 - 1m26	(あと3cm刻み)

降雨その他の条件により、審判員の判断で変更することがある。

第1位及び第4位が同成績の場合、順位決定のためのバーの上げ下げは走高跳で2cm、棒高跳では5cm単位とする。

## 8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

## 9 表彰について

- ① 各種目の優勝者には賞状とバッジを、第2位～第8位までに賞状を授与する。
- ② 各種目の表彰は決勝終了後ただちに行うので、3位までの入賞者は係員の指示に従い、入賞者控室で待機する。4位以下は第1会議室で賞状を受け取る。

## 10 商標について

原則として競技場内に商社名、商品名のついた物品を持ち込むことはできない。規定外のものについては、競技役員が処理する。(IAAF憲章第18条付則)

## 11 提出用紙一覧

提出書類	提出先	提出時間
リレーオーダー用紙	競技者招集所	招集開始時刻の1時間前
抗議申立(口頭)	審判長	結果報告後 (予選) 15分まで (決勝) 30分まで
記録証明書交付願	競技場正面入口左側の記録証交付所	競技終了後随時

## 12 大会申し合わせ事項

- ① 本大会は、第52回四国中学校総体陸上競技予選を兼ねる。各種目上位4位(ただし男子1年砲丸投を除く)とリレー2位までが出場権を得る。
- ② 四国総体の資格取得者は、その校引率教員が中体連専門部長に手続きをすること。  
(大会終了後、第1会議室で申込書類を必ず受けとること)
- ③ 四国総体の出場権を確定するため、試技を追加する場合がある。
- ④ 出場制限について  
(ア) 1人2種目とする。但し、リレーは除く。  
(イ) 学年別種目は、該当学年の者しか出場できない。

## 13 そ の 他

- ① 記録証について  
記録証の交付を希望する競技者は、記録証係に記録証交付願及び交付料(500円)を添えて申し込むこと(記録証交付願は受付にて用意する)。
- ② 救護・保護について  
競技中の傷害については、主催者が応急手当をする。その後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお、当協会はこの保険への加入を義務づけているので、未加入の競技者は至急に加入手続きをすること。
- ③ 応援幕は、スタンド最前列の手すりには取りつけないこと
- ④ 不明の点は本部(庶務及び専門部長)に問い合わせること。
- ⑤ 第2競技場の使用方法については、係員の指示に従うこと。
- ⑥ 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は各自持ち帰って処理すること。また、荷物等所持品は各自が責任を持って管理し、盗難には十分注意すること。
- ⑦ プログラムに余裕があるときは、販売する。

## 全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録

男 子(13種目)		女 子(10種目)	
種 目	写真判定	種 目	写真判定
100m	11" 20	100m	12" 55
200m	22" 75	200m	25" 90
400m	51" 70		
800m	2' 01" 50	800m	2' 17" 00
1500m	4' 08" 50	1500m	4' 38" 00
3000m	8' 59" 00		
110mH	15" 00	100mH	14" 85
走高跳	1m85	走高跳	1m60
棒高跳	4m00		
走幅跳	6m50	走幅跳	5m40
砲丸投(5.000kg)	13m00	砲丸投(2.721kg)	12m50
四種競技	2,500点	四種競技	2,600点
4×100m リレー	各都道府県1チーム (学校単独チーム)	4×100m リレー	各都道府県1チーム (学校単独チーム)

(追風参考記録は対象としない)